

「小河内」便り 第40号 平成28年3月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（理事長 安福孝昭）

連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3

安佐小河内集会所

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>



暖冬とはいえ、気温が1ケタ台が続いた冬が過ぎ、春がやってきました。山の色が変わり、風が柔らかくなり、虫や小鳥たちの活動が活発になり、田舎では敏感に季節の変化が感じられます。今年度最後の小河内便りをお送りします。

目次

田舎暮らし体験塾 第9回（2月13日）	P 1
〃 第10回（3月5日）	P 2
アンケートから	P 3
お礼と来期の方針	P 3
田舎暮らし体験塾生分析	P 4
総会日程	P 5
湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク	P 5
小河内情報（小河内お花見宴会、各種団体総会日程）	P 5
集落の現況⑧ 上三根自治会 箕越自治会	P 6
編集後記	P 6

第9回田舎暮らし体験塾（2月13日）

弥太郎君袋詰め作業体験、ワークショップ



弥太郎君の袋詰め作業



ワークショップの纏め発表



森信秀樹様（経済同友会）ご挨拶

第10回田舎暮らし体験塾（3月5日）

炭焼き体験、農作業、閉講式



炭焼き講師の渡辺さん（左）と北岡さん（左側）



炭焼き窯で竹炭の取り出しを体験



農産物収穫後の農園整備に汗を流す塾生



女子塾生も耕運機で耕うん体験



閉講式で安福理事長から塾生に感謝状を手渡す
1年間、ありがとうございました



最後は全員で記念撮影
大きな輪が明日の小河内を創る

アンケートから

最終回後、塾生にアンケート実施 21 人から回答を得た。

1、 体験塾以外に小河内に来たことがありますか

初めて来た人が 13 人（約 62%）

2、 小河内の印象について

- ・ 田舎だなー
- ・ 何もないのが魅力
- ・ 初めは何んの変哲もない普通の田舎だが、来てみるとそれなりの歴史や文化、暮らしがあるなー
- ・

3、 満足度

19 人（約 90%）が満足、2 人（約 10%）が普通

- ・ 農への関心が深まった
- ・ 農業の大変さ、面白さがわかった
- ・ 多くの人と縁ができた
- ・ 地域起こしはすごく大変だな、と思った
- ・

お礼と来期の方針

従来の不特定多数の都市住民との交流のあり方を反省、特定の志ある都市住民の力を活用して小河内の活性化を図る目的で設立した、27 年度（第 1 期）「田舎暮らし体験塾」が関係各位、塾生 29 名の皆様のご協力により無事終了しました。感謝とお礼を申し上げます。

1、 一期の総括

塾生の田舎の暮らしや農業体験から、小河内への理解（魅力も大変さも）が深まり、小河内活性化の道筋が見えてきたこと。塾生の皆さんが何となく思っていた田舎への憧れ、興味（K）、関心（K）から一歩進み、期待感（K）や希望（K）、決心（K）、行動（K）へと、意識が変わり、移住希望や応援志願者が表れ、それが来期からの分科会活動やお助け隊等、小河内の活性化に繋るものと、総括します。

尚、本事業は、安佐北区の魅力と活力推進事業補助金の交付を受けて行っています。

2、 来期の方針

（1）カリキュラム

必須：小河内の農業や暮らし体験（10 回）

選択：分科会活動①空き家の改修、②環境・景観づくり、③特産品の開発

（2）住民との交流、輪を地区全体に広げる

（3）成果、目指す芳香に向かって道筋をつける

3、 お願い

本塾は塾生や O プロ役員だけのものではありません。小河内の活化的ためには、地区住民、塾生、O プロの協力が不可欠です。一層のご理解、ご協力をお願い致します。

田舎暮らし体験塾生（第1期生）分析

第1期塾生を分析したものです。

1、 塾生数

男女別	男性	女性	計
人	19	10	29
比率 (%)	66	34	100

2、 参加形態（単独、家族で参加）

参加形態	単独	家族（子供）	計（子供）
人	26	3（5）	29（5）
比率 (%)	90	10	100

3、 年代別（入塾時）

年代別	20代	30代	40代	50代	60代
人	1	7	6	9	6
比率 (%)	3	24	21	31	21

4、 地区別

区	安佐北区	安佐南区	中区	東区	南区	西区	佐伯区	廿日市市
人	7	6	2	3	2	5	3	1
比率 (%)	24	21	7	10	7	17	10	3

5、 出席者数

回	10回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	平均
出席数（人）	23	16	20	21	18	16	22	17	23	25	20・3
出席率 (%)	79	55	69	72	62	55	76	59	79	86	69・3

6、 出席率

回数	10回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	0
出席者（人）	2	6	8	4	1	4	1	1	0	1	1
出席 (%)	100	90	80	70	60	50	40	30	—	10	0
比率 (%)	7	21	28	14	3	14	3	3	0	3	3

（コメント）・参加ゼロの塾生は仕事、ボランティア活動が多忙のため（女性）

総会日程

当法人の第5期総会を6月12日（日）13：30より小河内集会所で行います。
詳細案内は次期理事会終了後、5月末お送りする予定です。

湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク

湯崎広島県知事が各地に出かけ、住民や団体から直接、地域の宝を聞き、交流する会（県政知事懇談）が3月19日湯来西公民館で行われ、当法人から「田舎暮らし体験塾～田舎の資源×都市の力～」について発表した。



挨拶される湯崎知事



田舎暮らし体験塾を発表する安福、迫田

小河内情報

1、小河内お花見宴会

（小河内自治会連合会花見実行委員会主催）

日時 4月17日（日）13：00～15：00

場所 旧小河内小学校グラウンド（雨天の場合は体育館）

参加費 大人 500円 子供 300円（地区外の方は当日お支払い下さい）
（焼きそば、焼き肉代含む）

飲み物持参、食べ物持ち込み歓迎

申し込み 田舎暮らし体験塾生は迫田へ、その他の地区外の方は主催者へ4月10日
までにお申し込み下さい

バス便小河内集会所着12：35（帰り）同発15：59

2、各種団体総会日程

本年度の小河内各種団体（自治会連合会、社協、体協、コミ協、公衛協）が4月24日（日）小河内集会所で行われます。

集落の現況（自治会紹介）⑧

（数字は自治会長より聞き取りしたもの）

自治会（会長）	上三根（梶木富雄）		箕越（中本トミコ）	
	現在	昭和15年	現在	昭和15年
総世帯	9	14	6	10
自治会加入世帯（地区外、内数）	9（0）		6（0）	
総人口	14		13	
65歳以上 （高齢率、%）	12 （85・7）		8 （61・5）	
子供（14歳以下）	0		0	
一人暮らし世帯	4		2	
空き家（1年以上）	4		2	
現存する廃屋	1		1	



上三根自治会 梶木会長

若い人と高齢者が仲良く生活しています。



箕越自治会 中本会長

戸数僅か6家の小さな集落で高齢者が多く過疎化しています。昨年夫婦で帰郷され大変嬉しく思っています。

編集後記

人口減少、過疎化が深刻な中山間地、そのトップランナーに行く小河内地区は、今数集落が消滅の危機にあり、その病魔はやがて地区全体を襲うのでは、と危惧されているところ。その危機感から、下記方程式（仮説）をたて、「田舎暮らし体験塾」で実験中。

小河内の資源（未利活用の資源）×都市の力（ヒト、モノ、カネ、情報）＝小河内の活性化
この異質のもの（X・Y）を掛け合わせれば、この難問の答えを出してくれる天才児（A）
が誕生、小河内を救ってくれるかも知れない。そんな夢を見ている。（S）